

第 2 期データヘルス計画中間評価の概要版

【計画策定の目的】

生活習慣病対策をはじめとした被保険者の健康増進により、医療費の適正化・保険者の財政基盤強化を図る。

【計画期間】

平成30年度～令和5年度

【評価時期】

令和2年度 進捗確認のため中間評価
令和5年度 次期計画作成のため最終評価

【評価方法】

- 1) 評価における4つの指標
 - ①ストラクチャー：保健事業実施のための体制・システムの整備状況
 - ②プロセス：保健事業の実施過程
 - ③アウトプット：保健事業の実施量
 - ④アウトカム：成果
- 2) 評価の基礎データ
 - ①人口構成・平均寿命
 - ②死亡の状況
 - ③介護の状況
 - ④医療の状況
 - ⑤特定健診の状況
 - ⑥重症化予防対象者の状況

【中間評価後の課題】

- 健診受診者の高血圧・脂質異常・糖尿病有病者の割合が改善していない
(特に糖尿病治療者の割合が高く、コントロール不良者の割合も増加している)
- 血糖検査 HbA1c5.6 以上の要指導者の割合が高い
- メタボリックシンドローム該当者が改善しない
(血圧、脂質、血糖のリスクの重なる該当が多い)
- 習慣的に運動している人が少ない
- 夕食後2時間以内に就寝する人が多い
- 毎日飲酒する人、適量以上(1～3合)の飲酒をする人が多い
- 医療機関受診勧奨対象者が医療機関受診に繋がっていない
- 一人当たり医療費が高い
- 医療費のがんに占める割合が増加している
- 健診未受診者が6割いる(健診未受診者の7割弱が生活習慣病治療中である)
- 40～50歳代の受診者が少なく、特に男性の受診者が少ない
- がん検診受診率が低い(特に胃がん検診が低く、肺がん検診も減少傾向)
- 歯周疾患検診受診率が低い

【優先すべき課題】

第2期データヘルス計画では、心筋梗塞・脳血管疾患等の発症リスクが高いメタボリックシンドローム該当者の改善、腎症・網膜症・がん・認知症等のリスクとなる糖尿病への対応、慢性腎臓病(CKD)の対策を優先課題としている。

今回の中間評価結果から、最優先課題として特に改善がみられていないメタボリックシンドローム該当者への対応、血糖検査の要指導者の割合が高く、また糖尿病患者数が多い状況から糖尿病関連への対応、医療費に占める割合が年々増加しているがんにも注目し対応する。各目標値を「データヘルス計画の目標管理一覧表 中間評価後」に記載する。

【主な保健事業の内容】

1) メタボリックシンドローム改善対策

- ①栄養指導の充実
 - ②運動事業の強化
 - ③生活習慣改善の啓蒙
 - ア.住民への周知 ホームページや広報・ケーブルテレビ等の利用
- <能登町の生活習慣の特徴に着目(質問票より)した啓発内容>
- ・運動習慣の定着
 - ・適正飲酒(週1回は休肝日)
 - ・夕食後2時間空けての就寝

スローガン 「健康こそが わが財産！」

～あと10分歩いて 目指す 脱メタボ～

2) 糖尿病対策

- ①保健指導優先順位の見直し
 - 優先順位1 HbA1c8.0以上の未治療者・治療者
 - 優先順位2 HbA1c7.0～7.9の未治療者
- ②血糖コントロール不良者の管理(糖尿病管理台帳の活用)
 - ア.未治療者の状況把握
 - イ.治療中のコントロール不良者の状況把握
- ③治療者への特定健診受診勧奨の強化(健診を受診しない理由も把握)
- ④医療機関との連携
 - ア.精密検査依頼書の発行
 - イ.糖尿病連携手帳の活用
 - ウ.血糖高値者の事例検討、情報提供

3) がん対策

- ①がん検診受診率の向上
 - ア.対象者への個別通知の工夫
 - イ.受診しやすい体制整備
- ②精密検査未受診者対策の強化
 - ア.訪問・電話等による受診勧奨